

第 53 回 広域系統整備委員会議事録

日時 2021 年 5 月 19 日（水）18:00～19:00

場所 web 会議

出席者：

< 委員 >

加藤 政一 委員長（東京電機大学 工学部電気電子工学科 教授）
岩船 由美子 委員（東京大学 生産技術研究所 特任教授）
大橋 弘 委員（東京大学大学院 経済学研究科 教授）
木山 二郎 委員（森・濱田松本法律事務所 弁護士）
久保 克之 委員（株式会社三井住友銀行 ストラクチャードファイナンス営業部長）
坂本 織江 委員（上智大学 理工学部機能創造理工学科 准教授）
田中 誠 委員（政策研究大学院大学 教授）
松村 敏弘 委員（東京大学 社会科学研究所 教授）

< オブザーバー >

大久保 昌利 （関西電力送配電株式会社 執行役員 工務部・系統運用部担当）
花井 浩一 （中部電力株式会社 執行役員 経営戦略本部 計画部 部長）
松島 聡 （日本風力開発株式会社 常務執行役員）
森 厚人 （東海旅客鉄道株式会社 取締役 専務執行役員）
柳生田 稔 （出光興産株式会社 執行役員 電力再エネ電源事業部長）
矢野 匡 （大阪ガス株式会社 理事 ガス製造・発電・エンジニアリング事業部
電力事業推進部長）

配布資料

- 資料 1 : 系統混雑を前提とした系統利用ルールについて
資料 2 : 広域系統整備計画の進捗状況について

1. 系統混雑を前提とした系統利用ルールについて

- ・事務局から資料1により説明を行った。
- ・主な議論は以下の通り。

[主な議論]

(花井ノブチーバー) 情報公表の内容およびタイミングについて、事務局提案に賛同する。今後、一般送配電事業者と協力し、検討を進めていただければと思う。現状の運用との親和性を考慮し、当面は一般負担による再給電ということで、混雑処理の直接的な影響はないものの、将来的にはゾーン制やノードル制の適用が示される中で、再給電方式の導入に合わせて、発電事業者の投資予見性に資するものとして系統混雑の情報を公表していく、発電事業者に活用して頂くことが重要であると理解した。今回、系統混雑を前提とした系統利用ルールに関連して、再給電方式導入時の具体的な情報公表について整理頂いたが、前回の委員会で発言させて頂いたように、今後は、再給電方式導入に向けて、試行ノンファームからの移行方法や N-1 電制本格適用との整合性についても検討を進めていくものと理解している。また、5/12 に開催された国の大量導入小委において、ローカル系統の増強規律・費用負担の考え方や、2022 年度末頃を目途にローカル系統でノンファーム電源の受付開始を目指す方向が示され、新たな系統利用ルールはローカル系統も含めて大きく見直しがなされる状況にある。このような状況を考えると、やはり従前の NW 利用ルールを前提に整理してきた試行ノンファームや N-1 本格適用については、改めて課題の確認や精査が必要だと考えている。コメントとなるが是非、事務局側で検討頂きたい。

(事務局) 国で行われている議論は事務局としても注視している。これらの議論状況を踏まえ、再給電やそのほかの仕組みの整合性については必要に応じて再検討させて頂きたい。

(大橋委員) ご提案には特段反対はない。データの更新頻度や、コンテンツをどういった形でいかに分かりやすく公表するのかという事も重要と考える。コメントとなるが情報の提供側と受け取り側の意識の乖離はよくある話だと思うので、そのあたり十分に配慮頂ければと思う。

(事務局) HP を見る方は常に電気事業を営んでいる人ばかりではないので、一般送配電事業者と協議しながら、分かりやすい掲載となるように今後も検討していきたい。

(加藤委員長) 速報・確報・年度報という形で様々な情報が出されるとのことだが、公表される情報の精度や確度はどう考えたらいいか。速報だと早く出るが、確報になるとその情報がより正確に出るということか。

(事務局) 概ねそのイメージ。調整力は混雑処理のみならず需給調整にも使っているもので、混雑調整の分を正確に切り分けた上で出すものが確報となるが、確報と速報とで大きく値が異なるものではないと認識している。

(加藤委員長) ある程度の精度は確保されているという事と理解した。

2. 広域系統整備計画の進捗状況について

- ・事務局から資料2により説明を行った。
- ・主な議論は以下の通り。

[主な議論]

(森オブザーバー) 資料の中身についてはよく理解できるが、工程表に記載の区分が工事件名と整合していなかったり、工程表に記載のある実施事項と、各件名での説明事項とでは若干記載が異なっていたりする。このあたりは今後整合性をとっていただいた方がよりわかりやすいかと思う。

(事務局) ご指摘の通りわかりやすい記載となるように検討したいと思う。

(加藤委員長) これにて本日の議事は全て終了となったので、第 53 回広域系統整備委員会を閉会する。どうもありがとうございました。